

令和2年3月期第1四半期の業績について

<概要>

令和2年3月期第1四半期の業績は、前年同期比減収増益の決算となりました。

なお、銀行の本来業務の収益力を示すコア業務純益（単体）は、前年同期比79百万円増加して3億46百万円となりました。

【貸出金残高5,278億円 平成30年6月末比+80億円（単体）】

貸出金残高（末残）は、住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加したことなどにより、平成30年6月末比80億円増加して5,278億円となりました。

【開示債権比率2.36% 平成30年6月末比△0.18ポイント】

開示債権比率（単体）は、平成30年6月末比0.18ポイント低下して2.36%となりました。

【自己資本比率 連結9.25% 単体8.95% 健全性を維持】

自己資本比率は、連結で9.25%、単体で8.95%となり、平成30年6月末比連結で0.01ポイント、単体で0.02ポイント上昇しました。

【通期見通し・配当予想】

通期の連結業績見通しは、令和元年5月14日に公表しました計数から変更ありません。

なお、配当金は30円の期末配当を予定しております。

1. 損益の状況（単体）

（単位：百万円）

	令和2年3月期 第1四半期実績	前年同期実績	前年同期比	
			額	率
経常収益	2,786	2,832	△46	△1.6%
コア業務純益	346	266	79	29.9%
経常利益	401	160	240	150.1%
四半期純利益	314	62	251	402.3%

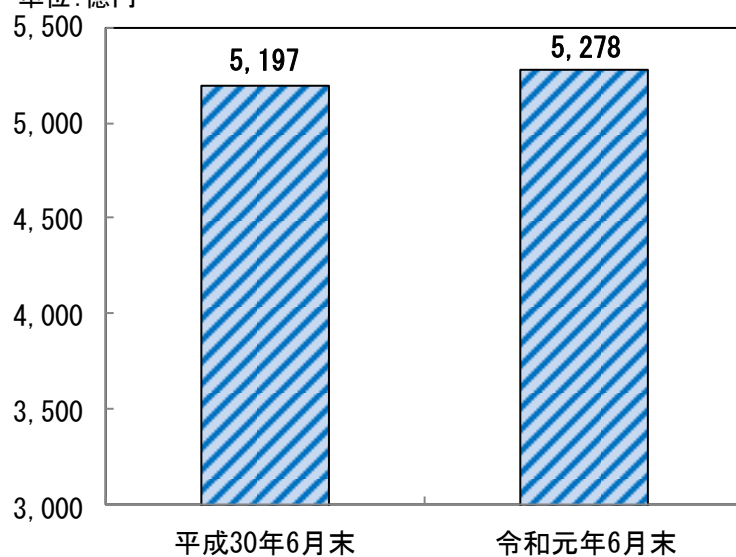
(参考：連結)

(単位：百万円)

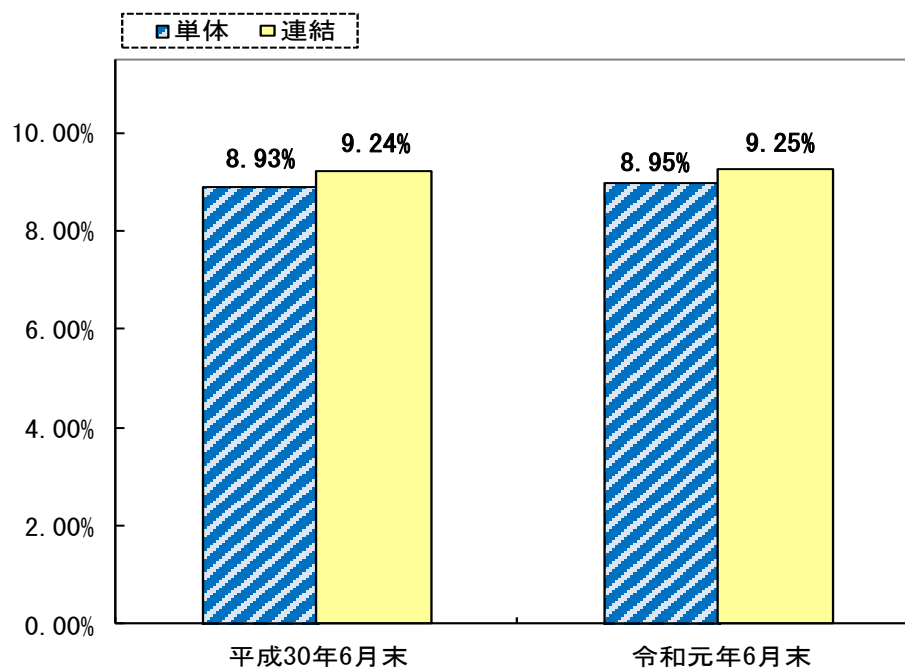
	令和2年3月期 第1四半期実績	前年同期実績	前年同期比	
			額	率
経常収益	3,070	3,127	△57	△1.8%
経常利益	419	167	251	150.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	324	64	260	405.7%

2. 貸出金残高 (単体)

単位：億円



3. 自己資本比率<国内基準>



以上